

作物生産精密実験圃場



作物 物生産精密実験圃場は圃場、ガラス室・網室・温室、温度・湿度を精密に制御できるグロスキャビネット等の施設を有しており、植物への養水分供給や環境の浄化・保全に果たす土壌の役割とその強化法の解明や高等植物の機能や特徴について分子・細胞レベルから環境浄化機能に至るマクロなレベルまで幅広い教育と研究を行っています。



作物生産精密実験圃場の全景



温室内における実習風景

家禽舎・家畜環境制御実験棟



家 禽舎・家畜環境制御実験棟には家禽舎、家畜環境制御実験棟、動物舎等の施設があり、家禽、緬羊、山羊等が飼育されています。ここでは食料として安全な動物を効率的かつ持続的に生産するための先端技術の開発を目的として、食資源動物の新規機能解明を目指した教育と研究を行っています。



動物舎のヤギ



家禽舎の白色レグホン（採卵鶏）

食品製造実験実習工場施設



食 品製造実験実習工場施設は食品の製造技術や機能開発に関する高度な実践教育を行う場として、中国地方では最も充実した設備を有しています。ここでは食品製造に関する高度な実践教育に加え、食品の安心・安全の確保、食品の新規機能開発、生物資源からの機能性素材開発等に関する基盤的な教育と研究を行っています。



食品製造実験実習工場棟



レトルト加熱殺菌装置

利用案内

●問い合わせ 平日 10:00～16:00

広島大学大学院生物圏科学研究科
附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター西条ステーション（農場）

ADDRESS 〒739-0046 広島県東広島市鏡山2丁目2965番地

TEL ☎ 082-424-7994 FAX ☎ 082-424-7971

E-mail 📧 fscfarm@hiroshima-u.ac.jp

URL 🌐 http://www.hiroshima-u.ac.jp/fcenter

●交通の案内 🚗 🚌 🚆

◎広島大学までのアクセス

広島大学 HP → 「交通アクセス・地図」 → 「東広島キャンパス」をご覧ください。

◎広島大学から西条ステーション（農場）までのアクセス



→ 矢印に従って案内板のある門（ゲート）からご入場ください。

P 駐車場の案内

ゲート（門）から入場して、左手に駐車場（25台）を用意しています。原付バイク・自転車の方もそちらに駐輪してください。他の場所への駐車・駐輪は固くお断りします。

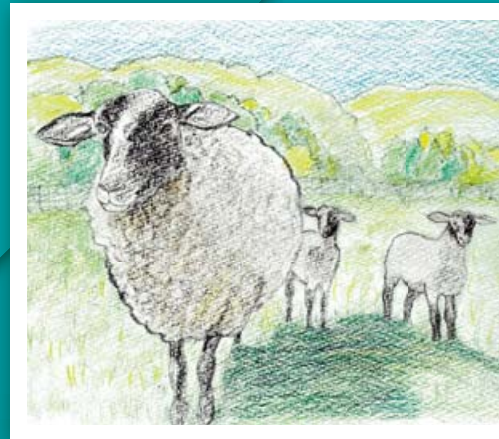
消毒のご案内

本農場では防疫上（口蹄疫等、法定伝染病の家畜への感染の予防）の理由により、車の消毒（案内板に従ってください）および靴・手の消毒をお願いしています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

入場制限のご案内

防疫上（口蹄疫等、法定伝染病の家畜への感染の予防）の理由により、2週間以内に海外への渡航歴がある方は、農場に入場できませんのでご了承ください。

大学院生物圏科学研究科 附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター 西条ステーション（農場）



広島大学

瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター西条ステーション

教育関係
共同利用
拠点

食の生産環境と食の安全に配慮した 循環型酪農教育拠点

●教育関係共同利用拠点制度とは？

多様化する社会と学生のニーズに応えつつ、質の高い教育を提供するためには、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進し、大学教育全体として多様で高度な教育を展開していくことが重要となっています。このことから、国公私立大学を通じた多様で高度な教育を展開している大学に対して、共同利用拠点に認定することでその取り組みを一層支援できるように、平成21年9月、文部科学省文部科学大臣により創設された制度です。

広島大学の西条ステーション（農場）は、家畜を中心とした共同利用の取り組みが認められ、平成22年度に「教育関係共同利用拠点」の認定を受けました（認定期間：平成22年6月10日～平成27年3月31日）。さらに平成27年度に再認定を受けました（認定期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日）。

●「教育関係共同利用拠点」としての教育活動

西条ステーション（農場）は、中国四国地域の中で酪農を中心とした教育を行える唯一の施設です。広大な草地と多数の乳牛を活用すると共に、他の施設（作物生産精密実験圃場、家禽舎・家畜環境制御実験棟、食品製造実習工場施設等）と連携して、酪農分野を中心に「食料の生産環境と食の安全に配慮した循環型酪農教育拠点」とした教育活動に取り組んでいます。具体的な教育プログラムと教育関係共同利用の案内は「教育関係共同利用のご案内」をご覧ください。



西条ステーション（農場）



西 条ステーション（農場）は約10万坪の敷地面積に、15の圃場（牧草地と飼料作物畑）と乳・肉牛、緬羊、山羊等を飼育する設備があります。特に乳牛飼育施設には、搾乳ロボットをはじめとした最新の設備が導入され、様々なフィールド教育を実践しています。また、生産された生乳は乳業メーカーに出荷しています。近年は、年間の来場者数が1,000名を超え、園児から大学生、地域住民までを含む多くの人々の食農教育の場として活用されています。



搾乳ロボット



黒毛和種の放牧



随時 本施設の教育利用（他大学の授業等による一時利用）

- 概要：広島大学の西条ステーション（農場）および関連施設では、他大学による教育目的の利用についても随時受け付けております。他大学の教員の皆さまで、本施設を利用して講義、実習、演習、ゼミ等の一部の実施を希望される方は下記までお問い合わせください。食と農に対する理解を深めるための食農フィールド教育の場として理想的な施設です。
- 申し込み・問い合わせ先：広島大学生物圏科学研究科支援室
 ◎E-mail：sei-kyo-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
 ◎お問い合わせの際は、氏名・連絡先（メールアドレス）・所属大学名を記入の上、ご連絡ください。

講義 実習 見学 ゼミ



教育関係共同利用のご案内

① 命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習



- 概要：本演習は、農業の専門的知識を持たない学生が、広島大学の西条ステーション（農場）および関連施設（作物生産精密実験圃場、家禽舎・家畜環境制御実験棟、食品製造実験実習工場施設など）で、草と家畜と土の循環を通してミルクや肉を生産し、食品に加工する過程を体験しながら、様々な生き物の命によって生かされている人間の存在について考えることをねらいとしています。
- 開講期間：8月下旬～9月上旬内の4日間（3泊4日、火曜日から金曜日）
- 定員：約30名
- 単位数：2単位
- 対象：教育ネットワーク中国に加盟している大学など、農学系以外の学部にも所属する大学生および高等専門学校生

エリザベト音楽大学、近畿大学工学部、県立広島大学、山陽女子短期大学、鈴峯女子短期大学、比治山大学、比治山大学短期大学部、広島経済大学、広島工業大学、広島国際学院大学、広島国際大学、広島修道大学、広島女学院大学、広島市立大学、広島文化学園大学、広島文化学園短期大学、広島文教女子大学、安田女子大学、安田女子短期大学、呉工業高等専門学校、島根県立大学、広島都市学園大学、羽衣国際大学、福山大学、長浜バイオ大学、東洋英和女学院大学、帝京科学大学など

- 申し込み・問い合わせ先：各大学の事務に直接お問い合わせください。

③ 保育系学部生のための食育フィールド科学演習



- 概要：本演習は平成27年度に開講しました。保育系の学生が、広島大学の西条ステーション（農場）および関連施設（作物生産精密実験圃場、家禽舎・家畜環境制御実験棟、食品製造実験実習工場施設など）で、草と家畜と土の循環を通してミルクや肉、羊毛を生産・加工する過程を体験しながら、保育における食農教育や食育について考えることを目的とします。
- 開講期間：8月下旬～9月上旬内の4日間（3泊4日、火曜日から金曜日）
- 定員：約30名
- 単位数：2単位（所属大学での単位認定のみ）
- 対象：保育系の学部にも所属する大学生

東洋英和女学院大学、帝京科学大学など

- 申し込み・問い合わせ先：各大学の事務に直接お問い合わせください。

食と農との関わりを学ぶ大学生のための3つのプログラム（①・②・③）と保育者のためのプログラム（④）

② 酪農フィールド科学演習

—乳牛を中心とした食農フィールド演習—



- 概要：本演習は、農学の基礎知識を持った学生が、広島大学の西条ステーション（農場）および関連施設（作物生産精密実験圃場、家禽舎・家畜環境制御実験棟、食品製造実験実習工場施設など）で、草と家畜（特に乳牛）と土の循環を通して乳を生産し、乳製品に加工する過程を、講義および討論などに参加しながら、農業と食との関係について考えることをねらいとしています。
- 開講期間：8月下旬～9月上旬内の4日間（3泊4日、火曜日から金曜日）
- 定員：約30名
- 単位数：2単位
- 対象：中国・四国地区国公立大学農学系学部で、広島大学生物生産学部と授業科目の単位互換協定を締結した大学に所属している学生

愛媛大学農学部、岡山大学農学部、香川大学農学部、高知大学農学部、島根大学生物資源科学部、鳥取大学農学部、県立広島大学生命環境学部、広島大学生物生産学部、山口大学農学部

- 申し込み・問い合わせ先：各大学の事務に直接お問い合わせください。

④ 保育者のための食育フィールド科学演習



- 概要：本演習は平成27年度に開講しました。幼稚園や保育園に勤める保育者が、広島大学の西条ステーション（農場）および関連施設（作物生産精密実験圃場、家禽舎・家畜環境制御実験棟、食品製造実験実習向上施設など）で、草と家畜と土の循環を通してミルクや肉、羊毛を生産・加工する過程を体験しながら、保育現場における食農教育や食育の実践について考えることをねらいとします。
- 開講期間：6月の土曜日または日曜日の終日（平成27年度は6月27日（土）に実施）
- 定員：約30名
- 対象：国公立、私立の保育園および幼稚園、認定こども園に勤める保育士
- 申し込み・問い合わせ先：広島大学生物圏科学研究科支援室
 E-mail：sei-kyo-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
 お問い合わせの際は、氏名・連絡先（メールアドレス）・所属園名を記入の上、ご連絡ください。